

授業科目 比較芸術研究演習 I	単位 2 単位
授業担当者 寺田 吉孝	授業期間 後期
授業の題目と概要 <p>「北米・ハワイのアジア系音楽」 Asian Music in North America and Hawaii</p> <p>日本における北米・ハワイのアジア系人に関する研究は、これまで日系人の移民史を中心に進められてきた。近年、文学・人類学・アメリカ地域研究の領域において、アジア系アメリカ人社会に関する研究が急速に進展しているが、アジア系アメリカ人が実践する音楽の研究は未だにきわめて少ない。日本の民族音楽学者や芸能研究者が、アジア系アメリカ人の文化的表現を、アジアの「真正な」伝統の模倣・延長であるとみなし、主要な研究対象としてこなかったことがその一因である。本演習では、これまで看過されがちであったアジア系アメリカ人の文化的独自性および創造性に焦点をあて、新しく創り出される音楽と彼らのアイデンティティ創出の関係を考察する。特に、母国で演じられる音楽の伝統を重んじる移民一世と、それを素材としながらも他の芸術イデオムを積極的に融合しようとする北米生まれの音楽家たちの間に生まれる摩擦や葛藤に注目する。</p>	
授業の内容と計画 <ol style="list-style-type: none"> 1. 先行研究の視点および問題点 2. 日系、沖縄系 3. 中国系 4. 韓国系 5. フィリピン系 6. カンボジア系 7. ベトナム系、ラオス系 8. 南アジア系 9. アジア系アメリカのジャズ 10. アイデンティティの複合性・重層性 11. アジア系アメリカ音楽のアイデンティティ・ポリティクス 12. 総括～アジア系アメリカ音楽文化研究の可能性 	
使用する参考書、参考論文等 村上由見子 1997 『アジア系アメリカ人-アメリカの新しい顔』 中央公論社 Sakata, Lorraine. 1999. "Asian and Asian American Music." Portland Public Schools Geocultural Baseline Essay Series. 田中道代 2001 『アメリカの中のアジア-アイデンティティを模索するアジア系アメリカ人』 社会評論社 Terada, Yoshitaka, ed. 2001. <i>Transcending Boundaries: Asian Musics in North America</i> .	

<p>Senri Ethnological Reports 22. Osaka: National Museum of Ethnology. Wong, Deborah. <i>Speak It Louder: Asian Americans Making Music</i>. New York and London: Routledge.</p>
<p>成績評価基準 試験は行わない。授業に参加する積極性、学期末の研究発表、レポートの提出により評価する。</p>
<p>その他の留意事項</p>